

# **令和 7 年度産業建設委員会 行政視察報告**

**令和 8 年 1 月 8 日**

## 視察の目的

①地方と都市の結節点としてのインフラ活用について

視察先:長野県松本市 「信州まつもと空港」

②次世代が誇りを持てる地域コミュニティについて

視察先:福岡県福岡市 「小倉祇園太鼓」

③多様な働き方と挑戦を支える環境整備について

視察先:福岡県北九州市 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

④住まいと生業(なりわい)の基盤づくりについて

視察先: 福岡県福岡市 「イエカツ」

# (1) 長野県松本市「信州まつもと空港」

## 【概要】

松本空港は昭和40年に開港し、標高約657メートルに位置し「日本一空に近い空港」とされる。

滑走路は2000メートルあり小型・中型機の運行が可能で、就航路線は定期便が札幌線、福岡線、神戸線の3路線と、国内線・国際線のチャーター便を運航。



# (1) 長野県松本市「信州まつもと空港」

## 【課題】

- ・施設の老朽化
- ・標高の影響により最大離陸重量に制限  
→滑走路延長希望も現状は困難
- ・発着枠の制約  
→現状 12便※令和7年12月より20便まで拡大
- ・収益性が乏しく厳しい経営環境



## （1）長野県松本市「信州まつもと空港」

### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

#### ・「使う側」から「活かす側」への転換

本市から車で30分という立地を活かし、単なる移動手段ではなく、岡谷の精密部品や高付加価値産品（シルク等）を運ぶ「物流の選択肢」としての活用を、民間企業と連携し研究する。

#### ・広域観光ハブとしての連携強化

福岡・北九州エリアは「時間距離」で非常に近い交流圏である。インバウンドを含む観光客を空港から本市へ誘導するため、二次交通（シャトルバス等）や周遊ルートの整備を近隣自治体と連携して推進する。







## (2) 福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【概要】

小倉祇園太鼓は毎年7月に開催される伝統行事で、約400年の歴史を有し**国の重要無形民俗文化財**に指定されている。

運営は地域（町内会）が主体となり、市の補助金は最小限（約20万円等）に留め、寄付や協賛金で自走している。

また、女性や子ども、初心者も参加しやすい「太鼓塾」や「おもてなし太鼓」を開催している。

## (2) 福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【特記事項】

- ・ 小倉祇園太鼓は「暴れ打ち」と呼ばれる迫力ある演奏スタイル
- ・ 「ドロ・カン」3拍子の正調リズム。
- ・ 次世代への継承には「チャンガラ」という要素が重要とされ、伝統と革新の両立を図る。
- ・ 観客動員数は例年25万人。
- ・ 地域主導の運営により、市民の誰もが気軽に参加できる敷居の低いお祭り。



## （2）福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

#### ・「見せる祭り」から「参加する祭り」への深化

初心者・女性・移住者が気軽に参加できる通年型の「太鼓塾」や、観光客向けの体験プログラムを拡充。

#### ・住民主体、財政的自立の追求

行政主導・公費依存型から、保存会や地域コミュニティが主体となり、クラウドファンディングや企業協賛で自走する「持続可能な運営」への転換。

#### ・回遊性の創出

定点演奏だけでなく、街中を練り歩くスタイル（または簡易的な回遊イベント）を試験的に導入し、街全体の賑わい創出。





### （3）福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【概要】

###### ○ウーマンワークカフェ北九州

全国初、国（ハローワーク）・県・市が同居する女性就業支援拠点。就職相談、保育所相談、キャリアアップ、創業相談をワンストップで提供。「もやもやした悩み」の段階から伴走支援を行う。

###### ○COMPASS小倉

「日本一起業家に優しいまち」を掲げる創業支援拠点。

スタートアップの育成、学生への起業教育、専門家（弁護士・税理士等）によるワンストップ相談機能を有する施設。

### （3）福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【特徴】

###### ○ウーマンワークカフェ北九州

- ・国、県、市が共同で運営する三者連携型の就業支援拠点
- ・就職相談、企業紹介、託児相談などを一力所で完結する  
ワンストップ窓口
- ・再就職希望者、子育て期の女性、ブランクからの復帰者を重点支援
- ・相談は柔らかい雰囲気で、初めてでも受けやすい設計
- ・キャリアセミナー、面接練習など実践支援プログラムも実施

### （3）福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【特徴】

##### ○COMPASS小倉

- ・創業希望者向けの相談・手続き・事業成長支援を一体的に提供
- ・起業に関する課題を総合的に解決できるスタートアップ支援施設
- ・女性の起業支援・新しい働き方の実現サポートに重点
- ・伴走支援スタッフによる継続的なフォローアップ体制
- ・成長支援プログラムの実施（アクセラレーションプログラム、マッチング支援、グローバル展開支援、学生向け育成プログラム）

### （3）福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・**真のワンストップ相談窓口の設置**

就労支援と子育て支援(保育園入所等)が別窓口である現状を見直し、関係機関が連携して一か所で課題解決できる体制(または連携フロー)を構築。

- ・**潜在的労働力の掘り起こし**

「働きたいが一步踏み出せない」女性層に対し、実務スキル(IT、SNS運用等)の習得機会を提供し、自信を持って就労できるよう「就職の前段階」を手厚く支援

### （3）福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

##### ・**創業支援の拠点化と教育**

テクノプラザおかや等の既存施設を活用し、創業希望者・学生・地域企業が交流できる「挑戦の場」を再構築する。

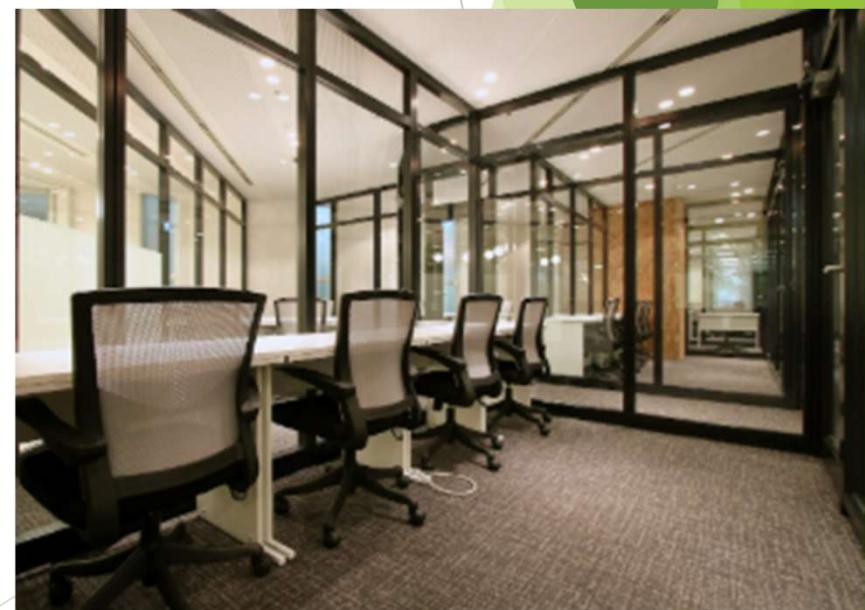
また、学生へのアントレプレナーシップ教育（起業家教育）を推進。





# COMPASS 小倉





## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」



### 【概要】

空き家問題の深刻化を受け、県が空き家の発生抑制や活用・処分の支援をワンストップで行う目的で令和2年10月に開設された。

特徴は課題である「相続未登記」や「権利関係の整理」に対し、司法書士等の専門家と連携して解決を図った上で、不動産業者へつなぐ仕組み。

令和5年度の相談件数は**532件**と増加傾向

R2(10月～)	計
相談件数	360 件
相談会開催回数	10 回
相談会相談件数	102 件
相談会抜き相談件数	258 件

R3	計
相談件数	437 件
相談会開催回数	21 回
相談会相談件数	153 件
相談会抜き相談件数	284 件

R4	計
相談件数	433 件
相談会開催回数	20 回
相談会相談件数	153 件
相談会抜き相談件数	280 件

R5	計
相談件数	401 件
相談会開催回数	19 回
相談会相談件数	106 件
相談会抜き相談件数	295 件

R6	計
相談件数	532 件
相談会開催回数	20 回
相談会相談件数	133 件
相談会抜き相談件数	399 件

R7(～9月)	計
相談件数	271 件
相談会開催回数	11 回
相談会相談件数	82 件
相談会抜き相談件数	189 件

## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」

### 【取り組み事例】

#### ・売却支援(手離れ希望)

相続整理→司法書士連携→売却

#### ・相続課題の整理

ケアマネジメント経由の相談→売却

#### ・立地特性を活かした賃貸活用で地域貢献

空き家→学生向けシェアハウス

#### ・空き店舗活用

空き店舗→リフォーム→テナント向け賃貸

1 相談事例 手離れ希望 → **名義変更、売却、解体**

空き家を2棟所有。1棟は借地。まだ何も手をつけてなく、何からすればいいかわからない。処分希望。



門司・八幡

**対応**

- ・土地所有者と話してもらい更地で返還することが決定
- ・売りやすい1棟目から取り組んでいく

**結果**

- ・土地建物の名義変更(司法書士紹介)
- ・1棟目の下見会(業者選定、売却)約半年
- ・北九州市解体補助金の申請手伝い
- ・解体して土地を地主に返還

## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」

【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・「相続・権利整理」への支援強化

空き家の発生予防および流通促進のため、司法書士・土地家屋調査士等と連携協定を結び、権利関係の整理をセットにした相談体制を構築。

- ・情報発信とプッシュ型アプローチ

固定資産税の納税通知書へのチラシ同封など、潜在的な空き家所有者へプッシュ型で情報を提供。

- ・「イエカツ」モデルの導入検討

市単独または広域連携により、公的な信頼性を担保した「空き家活用・相談の総合窓口」の設置を検討。





**以上で行政視察報告を終了します。**